

---

# よろず屋に変人！？(・o・)

莓リズム

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

よろず屋に変人！？（・。・）

### 【NZコード】

N2955Y

### 【作者名】

莓リズム

### 【あらすじ】

暇?な大阪の学生が書いてる小説だす（へ〇へ）  
少しごろい場面あり 戦闘シーンのときのみ

## 第一訓 プロローグ（前書き）

初めまして！（ へ 〇へ ）

投稿できない日があり週1つていう可能性大有りなん  
で  
覚悟！？を！？

## 第一訓 プロローグ

20年ほど前

うちの隣の家に坂田銀時つていうやつがおつた髪はそのままの通り銀髪  
でも田がなんぢゅうの・・死んでる

しかも偶然に偶然・・・おんなじ寺子屋通つてた

いわゆるおんなじみ

歳も同じ

んどうちの姿が・・・

髪はキレイな琥珀色

前髪は7・3分け 一一＼＼＼ こんな感じ

ちなみに普段は髪をNARUTOの綱手みたいにしてる

知らない人は検索してみよう!

目は緑

まつ毛長くてくっつきつり

身長 165 cm

服は袖のないミニ着物

下がひざ上10 cmやねん

もち、黒スパッツ着用（七分丈）

靴はブーツ

体は・・・まあよくスタイルいいついわれる・・・

で今そいつはどこでしんでん？？

つてこいつとみなすか屋つてこいつにわかる向でも屋を開いてる

まあ・・・少し前に戦いがあつてみなさん知つてるあのメンバーで

戦つた

「うちは女っていう理由で戦いは参加できへんかった

悔しかつた

先生殺されたのに

でも、銀時は

「めんどくせけど、お前の分まで頑張つてやるよ」

つて言つてくれた

うちでまあ、納得?したんやけど・・・

でそのよひす屋・・・手伝つてこじた

まあ・・・あれ・・・うちの分まで頑張ってくれたお礼やな

で、しばらくして新ハや神楽が入ってきた

ついことで、銀時、うち、新ハ、神楽でようす屋の始まりやーー！

## 第一訓 プロローグ（後書き）

感想とかくれたらうれしいです

## 第一訓 むねか壁（前書き）

はい！先週一話書いただけだと全部書いてないアホ一名でーす！

よひしへ

じゃあ本題へレッツゴー！

## 第一訓 よのす屋

あるよのす屋に朝六時といひ、早い時間帯によのす屋から大声が聞こえるのは  
いつものこととなつてゐる

あーー申し遅れたんやがどつかの奴前せ、竜堂夢古とこいつねん！  
よろしくなーー！

「夢叶！ーー今日の朝！」はん何アルカ！？？またよろす屋じやあ稼ぎ  
足りなくてここ家の家賃  
払つためにまたなんかバイト増やしたアルカ！？？？」

「神楽まづ朝はおはよづ。そして顔洗つて服は着替えるーー洗濯物  
コインラ　ドリーに持つていくから  
ご飯は今日は和食！バイトはこつものことやからーー」

はい。そりです

ただでさえ家賃払うので精いっぱいなのに、神楽は大食いで生活費が毎月ピンチやねん・・・

だからよろず屋以外に、コンビニのバイトしたりしてんねん！

夢叶は神楽同様よろず屋が家です

このよろず屋には洗濯機とのがないねん！！

ほんま意味分からん！

「あー・・・夢叶・・・俺の分の味噌汁確保しちゃって」

「銀時！」飯は全部確保しどる！お前も着替えて飯食わんかい！  
「いやあ夢叶・・・いつもすまないねえ・・・家賃とか掃除とか洗濯とか」飯とか！

神楽はもつ着替えてお行儀よくイスに座つている

「もうそれ耳にタコできとるほど聞ことねー。つーか悪こ思ひそやつたら少しほお前もバイトしりー。  
あんたの当番」「ハハ捨てとジヤンパン買つて行くだけやしー。なんで社長のお前が何せかえへんねんねーあー！」

ちなみにつりは女いつてなめたらあかんしー。  
いつも帯には短剣入れてるし、怪力だつて結構自信あるでーー。

「まあまあ、夢叶さん落ち着いてください。銀さん夢叶さんの言つとおりですよ。

働く気がないんだつたら夢叶さんの掃除のひとつお手伝いしたらいどうですか??」

「ええ、」と、さすがにやんダメガネ。

「何がダメガネだあああ！－！－！」

「新ハ！－」飯につばが跳ぶアル・・・汚いからやめろ！」

「跳ぶの字つて違つてない！？ねえ違つんじゃない！？？」

「いつとくねじあたしが夢叶の手伝いしてアルヨ。買い物の手伝いとか

「『噏！？？』

銀時と新八が声をそろえて言った

「いや、咲良やかが」

「おこ……俺見た」とねえぞ……

「僕もですよー銀ちゃん!ー!ー!

「まあ、それはいこいして……

「いいのかよ……」

「 もう話めぢやへぢやですよ・・・銀さん。」

「 台本ガンスルーだな。」

「 えつと・・・次なんだっけ・・・ちり・・・ああ・・・そいつがつ今日  
はめずらしく依頼人が来るよ」

「 棒読みじゃないですか！・・それにあきらかに今”ちら”って台本  
見ましたよね！？？」

「 細かいことはじりでもいいんだよ。ダメガネ」

「 だから、ダメガネ言つな！・・・銀さんあんたどつちの味方なんです

か！？？

ピンポン

「あー、インターホンなつてる・・・夢占みてー」――・・・

「はいせー・・・」

バ  
タン

・  
・  
・  
・

「は  
い  
・  
・  
・  
・

が  
ら  
！



## 第一訓 よりや屋（後書き）

PS

銀「つて終わり方半端だなおいーーー。」

神「銀ちゃん、しうがないある作者はめんどいからいひすのアルよ?」

新「なんで疑問なんですか・・・・・」

夢「はい!次へ続きまーす

新「当たり前だろーが!—これで次回違つ始まり方だつたら売べきおかしいだろ!—!」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2955y/>

---

よろず屋に変人！？(・o・)

2011年11月17日19時02分発行